

2024年3月期第2四半期 決算補足説明資料



コ ー ド : 5 9 8 5

2023年11月10日

AGENDA

I. 2024年3月期 第2四半期 決算概要

II. 2024年3月期 業績見通し

2024年3月期第2四半期 決算概要

EV関連製品の伸長に加え、自動車生産が回復傾向にあり自動車分野は売上回復一方で、電子情報通信分野はデータセンター投資抑制の影響が継続しており主にHDDサスペンションの売上が低迷

売上高 25,169百万円（前年同期比▲1,644百万円/▲6.1%）

営業損失 ▲1,406百万円（前年同期比▲1,877百万円/－%）

EV関連製品

売上前年同期比+48.4%

- バスバーやLED関連製品の増加により前年同期比+48.4%増収

電子情報通信分野

売上前年同期比▲38.1%

- HDD用サスペンション・通信関連
データセンター向け投資抑制の影響が継続しており、前年同期比▲49.0%減収
- プリンター関連
市場低迷により前年同期比▲8.0%減収
- 通信関連
データセンター向け投資抑制の影響が継続しており、前年同期比▲11.0%減収

既存自動車分野

売上前年同期比+12.1%

- 材料関連・自動車関連
自動車生産の回復により前年同期比+10.6%増収
- 自動車関連
自動車生産の回復により前年同期比+12.6%増収

✓ 売上高	半導体不足等の解消に伴い自動車市場は回復傾向であり、EV関連製品及び既存自動車分野の売上高は前年同期比増収。一方で、電子情報通信分野の売上減少により全体では前年同期比▲6.1%減収
✓ 営業利益	HDD用サスペンションの減収に加え、新機種増産準備にかかる費用の増加及び訴訟対応に関して有効な防御策を講じるための弁護士費用・その他の費用の増加他により営業損失▲1,406百万円
✓ 経常利益	主に為替差益400百万円、受取配当金73百万円、持分法による投資利益49百万円、作業屑売却益88百万円を計上、経常損失▲834百万円

単位：百万円	2023年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期	
	実績	実績	前年同期比	
売上高	26,813	25,169	▲1,644	▲6.1%
営業利益	471	▲1,406	▲1,877	—
経常利益	882	▲834	▲1,716	—
当期純利益	572	▲681	▲1,253	—
一株当たり利益	19.05	▲22.66		
平均為替レート	134.0円/ドル	141.0円/ドル		
	138.7円/1-円	153.4円/1-円		

▶ 対前年同期比

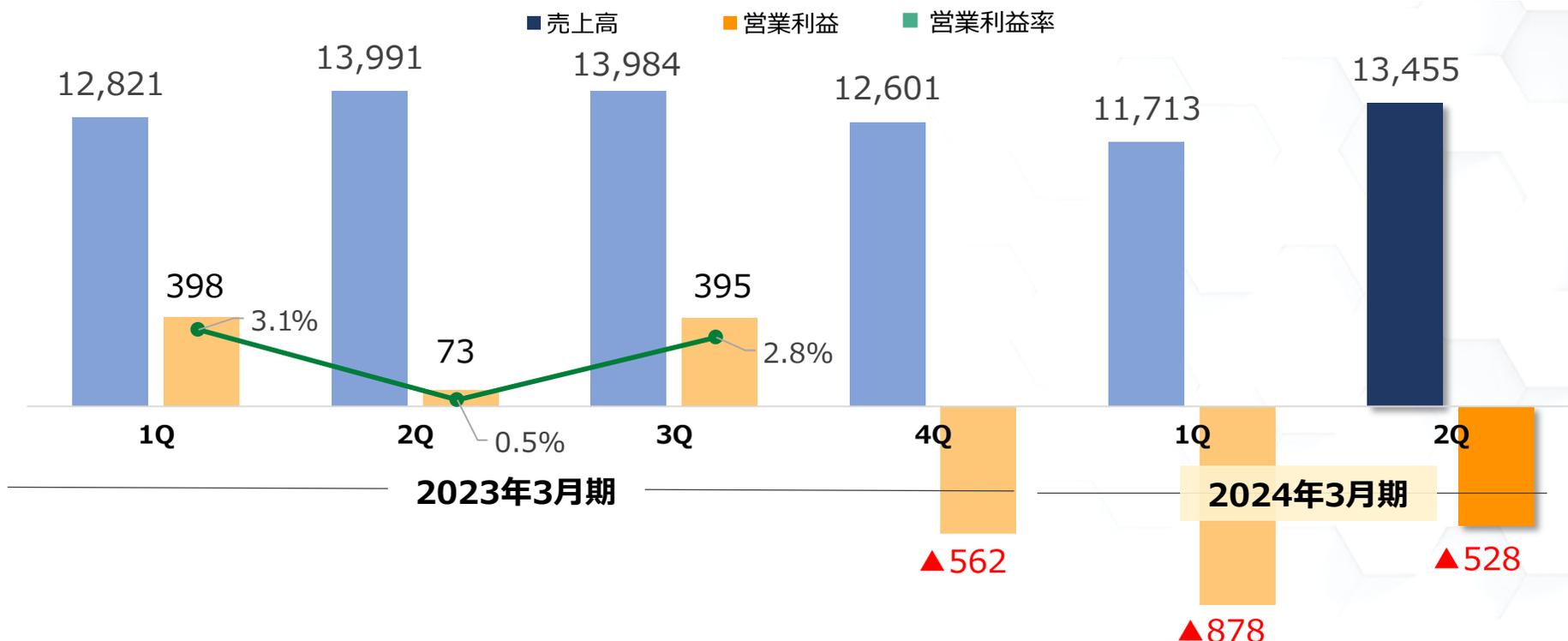
✓ EV関連製品	バスバーやLED関連製品等が大きく増加し前年同期比+48.4%増収	
✓ 電子情報通信分野	HDD用サスペンション	データセンター投資抑制の影響が継続しており前年同期比▲49.0%減収
	プリンター関連	需要が減少傾向にあり前年同期比▲8.0%減収
	通信関連	データセンター投資抑制の影響により▲11.0%減収
✓ 既存自動車分野	材料関連	自動車生産の回復により前年同期比+10.6%増収
	自動車関連	自動車生産の回復により前年同期比+12.6%増収

(単位：百万円)	2023年3月期第2四半期		2024年3月期第2四半期	
	実績	実績	前年同期比	
連 結 合 計	26,813	25,169	▲1,644	▲6.1%
E V 関 連 製 品	1,296	1,923	+627	+48.4%
電 子 情 報 通 信 分 野	10,684	6,615	▲4,068	▲38.1%
HDD用サスペンション	7,808	3,986	▲3,822	▲49.0%
プ リ ン タ ー 関 連	1,852	1,703	▲148	▲8.0%
通 信 関 連	760	676	▲83	▲11.0%
そ の 他	262	248	▲13	▲5.3%
既 存 自 動 車 分 野	14,832	16,630	+1,797	+12.1%
材 料 関 連	3,506	3,876	+370	+10.6%
自 動 車 関 連	11,326	12,753	+1,427	+12.6%

対前年同四半期比

✓ EV関連製品	バスバーやLED関連製品等の拡販による増収増益
✓ 電子情報通信分野	HDD用サスペンション及び通信関連製品の減収による減益、加えてHDD用サスペンションの訴訟対応に関して有効な防衛策を講じる為の弁護士費用・その他費用等の増加
✓ 既存自動車分野	自動車生産が回復傾向であることにより増収、また鋼材価格高騰分の転嫁遅れのあった前年四半期比で増益

四半期別業績の推移



2024年3月期 第2四半期 連結貸借対照表

▶ 対前期末比

✓ 固定資産増加	設備投資による有形固定資産+656百万円 株価上昇による投資有価証券+1,249百万円
✓ 流動負債増加	買掛金▲364百万円、短期借入金+1,771百万円、未払金▲469百万円、未払費用+199百万円
✓ 純資産増加	当期純利益▲681百万円、配当金▲273百万円 その他有価証券評価差額+870百万円、為替換算調整勘定+1,058百万円

単位：百万円	2023年3月期末		2024年3月期第2四半期末	
	実績	実績	実績	前期末比増減
流動資産	31,449	31,558	+139	+0.4%
現金	7,707	7,181	▲526	▲6.8%
売上債権	10,941	11,652	+711	+6.5%
棚卸資産	10,813	11,312	+498	+4.6%
固定資産	32,286	34,323	+2,037	+6.3%
総資産	63,735	65,912	+2,176	+3.4%
負債合計	25,696	26,897	+1,200	+4.7%
流動負債	21,324	22,558	+1,234	+5.8%
有利子負債	8,663	10,263	+1,600	18.5%
固定負債	4,372	4,338	▲33	▲0.8%
有利子負債	2,368	2,367	▲0	▲0.0%
純資産合計	38,038	39,014	+975	+2.6%
負債純資産合計	63,735	65,912	+2,176	+3.4%

2024年3月期 キャッシュ・フローの状況

✓ 営業C/F	税引前当期純利益の減少により前期比▲1,344百万円
✓ 投資C/F	前年のアイメス社への資本参加の影響により前期比+558百万円
✓ 財務C/F	借入金増加により前期比+1,041百万円

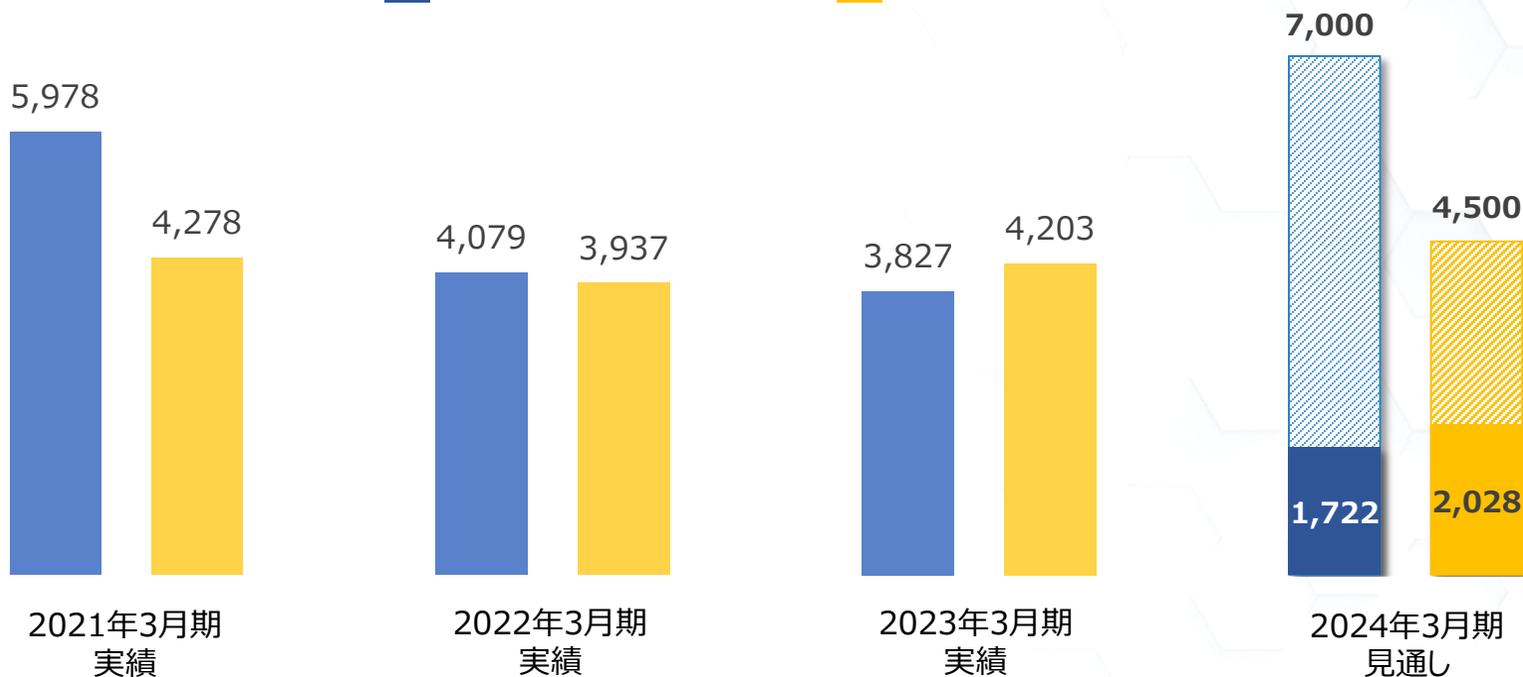
単位：百万円	2023年3月期第2四半期		2024年3月期第2四半期	
	実績		実績	前期比増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,213		869	▲1,344
税引前当期純利益	897		▲851	▲1,748
減価償却費	1,963		2,028	+65
売上債権増減	▲907		▲442	+464
棚卸資産増減	▲881		106	+987
仕入債務増減	1,123		▲463	▲1,586
その他の流動資産の増減額	176		704	+528
その他の流動負債の増減額	▲52		129	+182
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲3,176		▲2,617	+558
固定資産取得による支出	▲1,434		▲2,537	▲1,103
投資有価証券取得による支出	▲1,719		0	+1,719
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲270		932	+1,203
短期借入金増減	443		1,485	+1,041
長期借入金増減	▲274		▲185	+88

✓ **2024年3月期** 総額70億円の設備投資を行う見通し

設備投資額・減価償却費

(百万円)

■ 設備投資額 ■ 減価償却費



※上記設備投資額については完成ベース

2024年3月期 業績見通し

GGP24中期計画に対し大きく未達の状況

➤ 対GGP24中計比

✓ 売上高	自動車生産が回復傾向であることによりEV関連製品及び既存自動車分野が増加した一方で、データセンター投資抑制の影響による電子情報通信分野の売上減少により全体でGGP24中計比▲12.3%減少見込み。 (為替影響+31.3億円を除くとGGP24中計比▲17.6%減少)
✓ 営業利益	既存自動車関連の収益改善未達、電子情報通信分野の売上減少による利益減及び訴訟対応に関して有効な防衛策を講じる為の弁護士費用・その他費用等の増加他によりGGP24中計比▲60億円減少 (為替影響+7.7億円を除くとGGP24中計比▲67.7億円減少)

単位：百万円	2023年3月期		2024年3月期						
	実績	GGP24 中計	8月4日 公表予想	見通し		前期比		GGP24 中計比	
				下期	通期				
	通期	通期	通期						
売上高	53,399	59,300	—	26,831	52,000	▲1,399	▲2.6%	▲7,300	▲12.3%
営業利益	304	3,400	—	▲1,194	▲2,600	▲2,904	—	▲6,000	—
経常利益	848	—	—	▲1,266	▲2,100	▲2,948	—	—	—
当期純利益	557	—	—	▲919	▲1,600	▲2,157	—	—	—
一株当たり利益	18.57	—	—	▲30.50	▲53.18				
平均為替レート	135.5円/ドル	110.0円/ドル	—	140.0円/ドル	140.5円/ドル				
	141.0円/1-円	125.0円/1-円	—	150.0円/1-円	151.7円/1-円				

▶ 対GGP24中計比

✓ EV関連製品	バスバーやLED関連製品等順調な進捗により中計比+17.1%増加	
✓ 電子情報通信分野	HDD用サスペンション	データセンター投資抑制の影響により中計比▲51.2%減少 (為替影響+12.7億円を除くと中計比▲58.0%減少)
	プリンター関連	需要が減少傾向にあり販売低迷見込み。中計比▲14.5%減少
	通信関連	データセンター投資抑制の影響により中計比▲45.4%減少
✓ 既存自動車分野	材料関連	為替影響+7.7億円を除くとほぼ中計通りに推移
	自動車関連	自動車生産が回復傾向であることにより、中計比+11.6%増加 (為替影響+6.8億円を除くとGGP24中計比+8.6%増加)

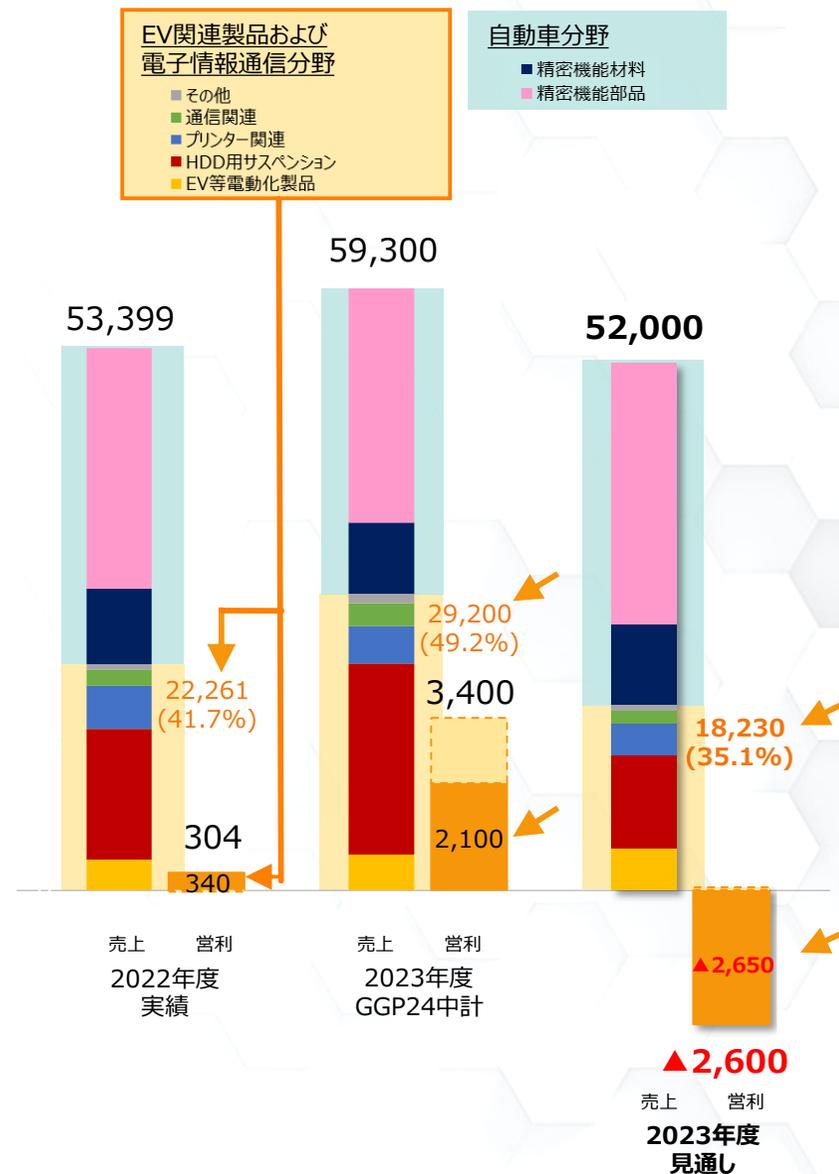
売上高 (単位：百万円)	2023年3月期	2024年3月期					
	実績	GGP24中計	通期見通し	前年比		GGP24中計比	
連 結 合 計	53,399	59,300	52,000	▲1,399	▲2.6%	▲7,300	▲12.3%
E V 関 連 製 品	2,970	3,500	4,100	+1,130	+38.0%	+600	+17.1%
電 子 情 報 通 信 分 野	19,291	25,700	14,130	▲5,161	▲26.8%	▲11,570	▲45.0%
HDD用サスペンション	12,931	18,790	9,170	▲3,761	▲29.1%	▲9,620	▲51.2%
プ リ ン タ ー 関 連	4,239	3,720	3,180	▲1,059	▲25.0%	▲540	▲14.5%
通 信 関 連	1,563	2,270	1,240	▲323	▲20.7%	▲1,030	▲45.4%
そ の 他	556	920	540	▲16	▲2.9%	▲380	▲41.3%
既 存 自 動 車 分 野	31,137	30,100	33,770	+2,633	+8.5%	+3,670	+12.2%
材 料 関 連	7,430	7,000	8,000	+570	+7.7%	+1,000	+14.3%
自 動 車 関 連	23,706	23,100	25,770	+2,064	+8.7%	+2,670	+11.6%

◆EV関連製品、電子情報通信分野

対GGP24比較

電子情報通信分野の売上大幅減少により利益大幅赤字

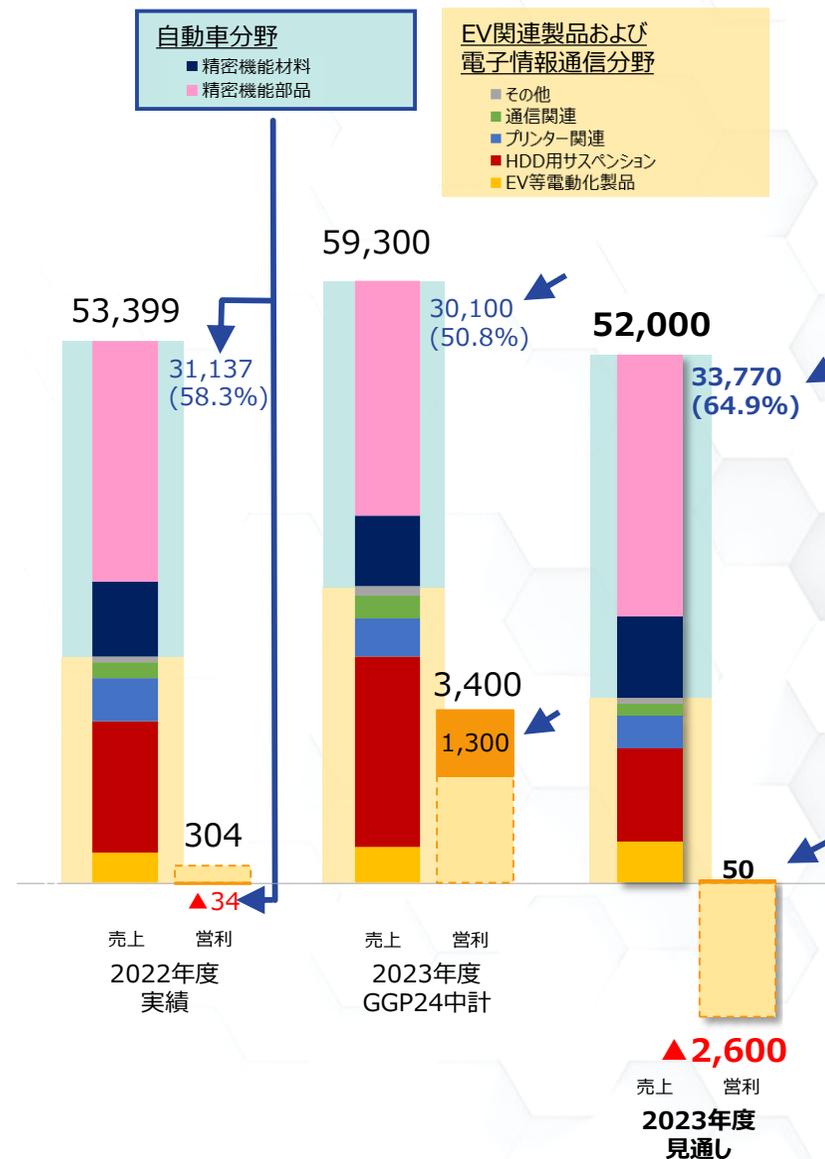
- EV等電動化関連製品
概ね予想通りに進捗しており、各製品の需要は好調
- HDD用サスペンション,通信関連
データセンター向け投資抑制による売上減少に加え、新機種増産対応にかかる費用の増加及び訴訟対応に関して有効な防衛策を講じる為の弁護士費用・その他費用等の増加



◆ 既存自動車分野

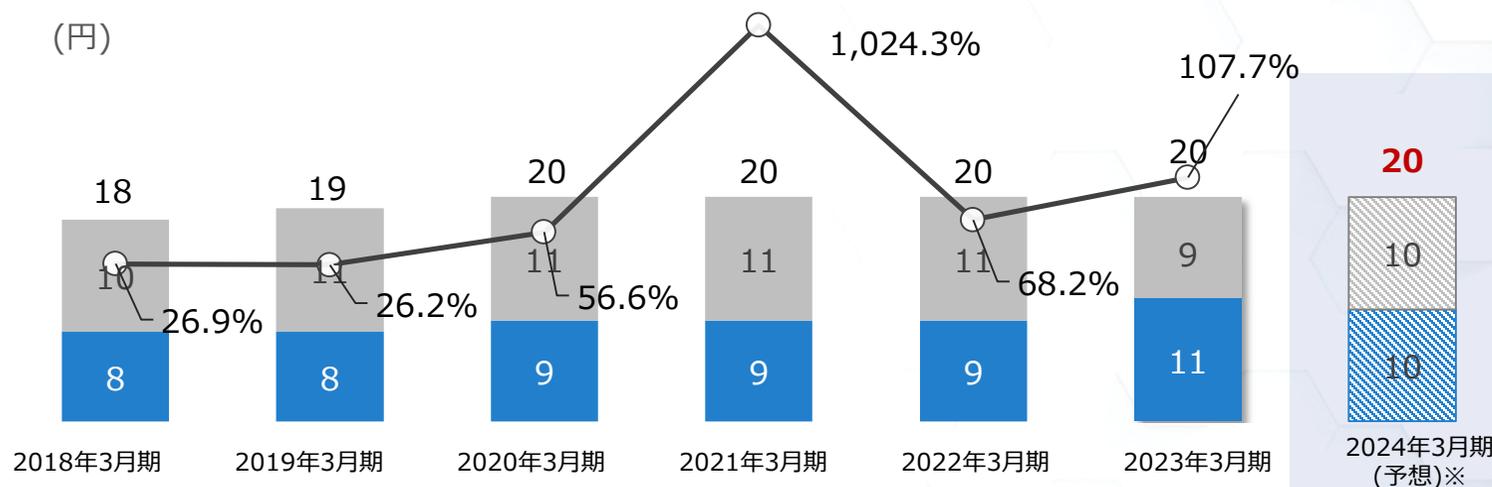
対GGP24比較

・自動車生産が回復傾向であることに加え、為替影響+14.5億円により売上は回復。利益面では収益性悪化により営業利益GGP24中計比▲1,250百万円減少



財務・資本戦略	資本収益性とBSマネジメントを推進すべく、自己資本の積み増しを抑制するための積極的な株主還元を実施
配当方針	ROE9.0%を超過するまで配当性向を75%とする （配当下限は20円を継続）

GGP24配当方針に則り、配当下限20円は継続致します。



中間配当	8円	8円	9円	9円	9円	11円	10円
期末配当	10円	11円	11円	11円	11円	9円	10円
年間配当合計	18円	19円	20円	20円	20円	20円	20円

※今後業績予想が修正される場合、配当方針に基づき修正されることとなります。

【ご注意】

本日の説明資料には、当社の事業に関する業績見通し、将来の計画・方針等に関する記述が含まれていますので、株券等の取引を行う際には、金融商品取引法その他の法令の遵守をお願い申し上げます。また、将来予想は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク・不確実な要因等を含んでいるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来予想の内容と大きく異なる場合がありますが、そのような場合であっても当社は、将来予想の内容を更新または修正して公表・開示する責任を負うものではありません。

